



2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年7月31日
上場取引所 東

上場会社名 第一三共株式会社
コード番号 4568 URL <https://www.daiichisankyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥澤 宏幸
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 朝倉 健太郎 TEL 03-6225-1125
四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	350,835	25.2	44,463	29.4	44,032	28.1	52,133	77.2	57,013	202.4
2023年3月期第1四半期	280,317	6.2	34,368	△21.3	34,382	△24.9	29,415	△37.5	18,851	△46.5

	親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	57,013	202.4	113,144	50.6	29.74	29.72
2023年3月期第1四半期	18,851	△46.5	75,113	121.5	9.84	9.83

(注) 当社グループは、経常的な収益性を示す指標として営業利益から一過性の損益を除外したコア営業利益を開示しております。コア営業利益の定義につきましては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	2,616,069	1,529,868	1,529,868	58.5	797.91
2023年3月期	2,508,889	1,445,854	1,445,854	57.6	754.09

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	15.00	-	15.00	30.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	17.00	-	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,450,000	13.4	140,000	14.2	135,000	12.0	135,000	6.4	115,000	5.3	115,000	5.3	59.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	1,947,034,029株	2023年3月期	1,947,034,029株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	29,680,844株	2023年3月期	29,690,154株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	1,917,345,695株	2023年3月期1Q	1,916,818,964株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
① 業績全般の概況	2
【連結業績（コアベース）】	2
【ユニット別売上収益状況】	4
② 研究開発の状況	6
(2) 財政状態に関する説明	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
(4) 株主還元に関する説明	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	11
要約四半期連結損益計算書	11
要約四半期連結包括利益計算書	12
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	13
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績全般の概況

【連結業績（コアベース）】

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	対前年同期増減
売上収益	280,317	350,835	70,518 25.2%
売上原価 [※]	74,692	93,609	18,917 25.3%
販売費及び一般管理費 [※]	96,325	135,609	39,284 40.8%
研究開発費 [※]	74,930	77,152	2,221 3.0%
コア営業利益 [※]	34,368	44,463	10,095 29.4%
一過性の収益 [※]	13	514	500 -
一過性の費用 [※]	-	945	945 -
営業利益	34,382	44,032	9,650 28.1%
税引前四半期利益	29,415	52,133	22,717 77.2%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	18,851	57,013	38,161 202.4%
四半期包括利益合計額	75,113	113,144	38,030 50.6%

※ 当社グループは、経常的な収益性を示す指標として、営業利益から一過性の収益・費用を除外したコア営業利益を開示しています。一過性の収益・費用には、固定資産売却損益、事業再編に伴う損益（開発品や上市製品の売却損益を除く）、有形固定資産・無形資産・のれんに係る減損損失、損害賠償や和解等に伴う損益の他、非経常的かつ多額の損益が含まれます。

本表では、売上原価、販売費及び一般管理費、研究開発費について、一過性の収益・費用を除く実績を示しています。営業利益からコア営業利益への調整表は、決算補足資料に記載しています。

< 主要通貨の日本円への換算レート（期中平均レート） >

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期
1米ドル/円	129.57	137.37
1ユーロ/円	138.10	149.46

a. 売上収益

- ・当第1四半期（2023年4月1日～2023年6月30日）の売上収益は、前年同期比705億円（25.2%）増収の3,508億円となりました。
- ・グローバル主力品エンハーツ（一般名：トラスツズマブ デルクステカン：T-DXd/DS-8201）、リクシアナ（一般名：エドキサバン）等の伸長及び円安の進行による為替の増収影響等により、増収となりました。
- ・売上収益に係る為替の増収影響は115億円でした。

b. コア営業利益

- ・コア営業利益は、前年同期比101億円（29.4%）増益の445億円となりました。
- ・売上原価は、売上収益の増加に伴い、189億円（25.3%）増加の936億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費は、エンハーツに係るアストラゼネカとのプロフィット・シェアの増加による費用増等により、393億円（40.8%）増加の1,356億円となりました。
- ・研究開発費は、前年同期並みの772億円となりました。
- ・コア営業利益に係る為替の増益影響は1億円でした。

c. 営業利益

- ・営業利益は、前年同期比97億円（28.1%）増益の440億円となりました。

d. 税引前四半期利益

- ・税引前四半期利益は、前年同期比227億円（77.2%）増益の521億円となりました。
- ・為替差損益の改善等により、金融収支が130億円改善したため、営業利益に比べて増益額が拡大しました。

e. 親会社の所有者に帰属する四半期利益

- ・親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比382億円（202.4%）増益の570億円となりました。
- ・第一三共エスファ株式会社の譲渡決定に伴う税効果会計の影響等により、当第1四半期の法人税等が△49億円となったため、税引前四半期利益に比べて増益額が拡大しました。

f. 四半期包括利益合計額

- ・四半期包括利益合計額は、前年同期比380億円（50.6%）増益の1,131億円となりました。

【ユニット別売上収益状況】

当第1四半期におけるユニット別売上収益は、以下の通りです。なお、製品別の売上収益については、決算補足資料に記載しています。

a. ジャパンビジネスユニット

ジャパンビジネスユニットの売上収益には、イノベーティブ医薬品事業、ワクチン事業及び第一三共エスファ株式会社が取り扱うジェネリック事業の製品売上収益が含まれております。

当ユニットの売上収益は、リクシアナ、タリージェ、エンハーツ等の伸長により、前年同期比100億円（9.1%）増収の1,190億円となりました。

当第1四半期における主な進捗は以下の通りです。

- ・2023年5月、抗悪性腫瘍剤ヴァンフリタの急性骨髄性白血病（AML）1次治療の承認取得及びプロモーション開始
- ・2023年5月、疼痛治療剤タリージェOD錠の新発売

b. 第一三共ヘルスケアユニット

第一三共ヘルスケアユニットの売上収益は、ルル、ロキソニン等の伸長により、前年同期比19億円（12.3%）増収の171億円となりました。

c. オンコロジービジネスユニット

オンコロジービジネスユニットの売上収益には、第一三共Inc.（米国）及び第一三共ヨーロッパのがん製品売上収益が含まれております。

当ユニットの売上収益は、欧米におけるエンハーツの伸長により、前年同期比431億円（156.6%）増収の706億円、現地通貨ベースでは、302百万米ドル（142.1%）増収の514百万米ドルとなりました。

d. アメリカンリージェントユニット

アメリカンリージェントユニットの売上収益は、ヴェノファー等の増収により、前年同期比36億円（7.7%）増収の507億円、現地通貨ベースでは、6百万米ドル（1.6%）増収の369百万米ドルとなりました。

e. EUスペシャルティビジネスユニット

EUスペシャルティビジネスユニットの売上収益には、がん製品を除く第一三共ヨーロッパの製品売上収益が含まれております。

当ユニットの売上収益は、リクシアナ、Nilemdo/Nustendiの伸長により、前年同期比44億円（11.8%）増収の415億円、現地通貨ベースでは9百万ユーロ（3.3%）増収の278百万ユーロとなりました。

f. ASCAビジネスユニット

ASCA^{※1}ビジネスユニットの売上収益には、海外ライセンシーへの売上収益等が含まれております。

当ユニットの売上収益は、ブラジルにおけるエンハーツの伸長等により、前年同期比76億円（23.8%）増収の395億円となりました。

※1 Asia, South & Central Americaの略

当第1四半期における主な進捗は以下の通りです。

- ・2023年6月、中国におけるエンハーツの新発売（適応：HER2陽性乳がんの2次治療）

② 研究開発の状況

当社グループは、5つのDXd-ADC^{※1}の製品価値最大化を目指してリソースを集中投入するとともに、持続的成長の実現に向けてSOC^{※2}を変革する製品群（Next Wave）の創薬を目指す「5DXd-ADCs^{※3} and Next Wave」戦略のもと、グローバル臨床開発の加速化にも注力して研究開発に取り組んでおります。

中長期的には、がんに加え、当社のサイエンス&テクノロジーの優位性を活かして様々な疾患に対する治療薬創製を目指し、新規モダリティ^{※4}の技術研究等を通じた創薬力の強化に取り組んでおります。

※1 ADCはAntibody Drug Conjugateの略、抗体薬物複合体。抗体医薬と薬物（低分子医薬）を適切なリンカーを介して結合させた医薬品で、がん細胞に発現している標的因子に結合する抗体医薬を介して薬物をがん細胞へ直接届けることで、薬物の全身曝露を抑えつつ、がん細胞への攻撃力を高めた薬剤。DXd-ADCは当社独自の薬物をリンカーを介して抗体に結合させたもの

※2 Standard of Careの略。現在の医学では最善とされ、広く用いられている治療法

※3 トラスツズマブ デルクステカン、ダトポタマブ デルクステカン：Dato-DXd/DS-1062、パトリツマブ デルクステカン：HER3-DXd/U3-1402、DS-7300、DS-6000

※4 モダリティとは低分子薬、抗体医薬、ADC、核酸医薬、遺伝子治療等の治療手段のこと

【5DXd-ADCs】

当第1四半期（2023年4月1日～2023年6月30日）における5DXd-ADCsの臨床開発の状況は以下の通りです。なお、各臨床試験の状況については、決算補足資料に掲載しています。

a. トラスツズマブ デルクステカン（T-DXd/DS-8201：抗HER2 ADC、製品名：エンハーツ）

がん領域のグローバル事業において豊富な経験を持つアストラゼネカと本剤を共同で開発し、また製品名エンハーツとしてコ・プロモーション等を実施しております。

当第1四半期における主な進捗は以下の通りです。

- ・2023年6月、米国臨床腫瘍学会（ASCO）におけるHER2発現の複数の固形がんを対象としたフェーズ2試験（試験名：DESTINY-PanTumor02）の初のデータ発表
- ・2023年6月、ASCOにおけるHER2陽性大腸がんの3次治療を対象としたフェーズ2試験（試験名：DESTINY-CRC02）の初のデータ発表

b. ダトポタマブ デルクステカン（Dato-DXd/DS-1062：抗TROP2 ADC）

がん領域のグローバル事業において豊富な経験を持つアストラゼネカと本剤を共同で開発しております。

当第1四半期における主な進捗は以下の通りです。

- ・2023年6月、ASCOにおける非小細胞肺癌を対象とした免疫チェックポイント阻害剤との併用療法のフェーズ1b試験（試験名：TROPION-Lung02）の最新データの発表

c. パトリツマブ デルクステカン（HER3-DXd/U3-1402：抗HER3 ADC）

当第1四半期における主な進捗は以下の通りです。

- ・2023年4月、EGFR遺伝子変異を有する非小細胞肺癌の3次治療以降を対象としたフェーズ2試験（試験名：HERTHENA-Lung01）の結果概要の発表

d. DS-7300（抗B7-H3 ADC）

当第1四半期における主な進捗は以下の通りです。

- ・2023年4月、小細胞肺癌を対象とした米国食品医薬品局（FDA）からの希少疾病用医

薬品^{※5} (Orphan Drug) の指定獲得

※5 米国における患者数20万人未満の希少疾病に対する治療、診断、予防を目的とした医薬品を対象として、開発の支援・促進を目的として指定される制度

【Next Wave】

当第1四半期におけるNext Waveの臨床開発の主な進捗は以下の通りです。なお、各臨床試験の状況については、決算補足資料に掲載しています。

- ・ 2023年4月、DS-5670 (COVID-19 mRNAワクチン) 起源株ワクチンの、健康成人を対象とした日本における初回免疫フェーズ3試験の結果概要の発表
- ・ 2023年5月、DS-5670 オミクロン株対応ワクチンの12歳以上を対象とした日本における追加免疫フェーズ3試験の開始
- ・ 2023年5月、DS-5670 オミクロン株対応ワクチンの5歳から11歳を対象とした日本における追加免疫フェーズ2/3試験の開始
- ・ 2023年5月、キザルチニブ (AC220 : FLT3阻害剤、日本製品名 : ヴァンフリタ) の FLT3-ITD変異陽性の急性骨髄性白血病 (AML) の1次治療を対象とした日本における承認の取得
- ・ 2023年5月、DS-2325 (KLK5阻害剤) のネザートン症候群を対象とした米国FDAからの希少小児疾患^{※6} (Rare Pediatric Disease) の指定獲得
- ・ 2023年6月、DS-1103 (抗SIRP α 抗体) の固形がんを対象としたエンハーツとの併用フェーズ1試験の開始
- ・ 2023年6月、バレメトスタット (DS-3201 : EZH1/2阻害剤、日本製品名 : エザルミア) の末梢性T細胞リンパ腫 (PTCL) を対象としたフェーズ2試験 (試験名 : VALENTINE-PTCL01) の結果概要の入手

※6 米国で18歳までに発症し、患者数20万人未満の希少疾病に対する治療、予防を目的とした医薬品を対象として指定され、本剤が承認を取得した際の優先審査バウチャーの付与等の優遇措置を受けることができる制度

(2) 財政状態に関する説明

- ・当第1四半期末における資産合計は2兆6,161億円となりました。その他の金融資産（流動）が減少した一方で、現金及び現金同等物、並びに営業債権及びその他の債権の増加等により、前期末より1,072億円の増加となりました。
- ・負債合計は1兆862億円となりました。引当金（流動）が減少した一方で、営業債務及びその他の債務、並びにその他の流動負債の増加等により、前期末より232億円の増加となりました。
- ・資本合計は1兆5,299億円となりました。配当金の支払による減少があった一方で、四半期利益の計上、並びにその他の資本の構成要素の増加等により、前期末より840億円の増加となりました。
- ・親会社所有者帰属持分比率は58.5%となり、前期末より0.9%増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

- ・2023年4月27日に公表した2024年3月期連結業績予想から変更はありません。

(4) 株主還元に関する説明

- ・当社は、持続的な企業価値の向上を図るため、成長戦略の展開に不可欠な投資の実行と株主の皆様への利益還元を総合的に勘案し、利益配分を決定することを経営の基本方針としております。
- ・2022年度につきましては、期末配当として、1株当たり15円の配当金を2023年6月20日にお支払いしました。年間配当金は、2022年12月1日にお支払いした中間配当15円と合計で1株当たり30円でした。
- ・2023年度につきましては、エンハーツの売上拡大等により、2025年度主要計数目標の達成確度が高まっていることから、1株当たり年間配当は2022年度に比べ4円増配の34円を予定しています。なお、中間配当及び期末配当としてそれぞれ1株当たり17円を予定しています。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	441,921	519,664
営業債権及びその他の債権	349,111	390,517
その他の金融資産	383,205	221,169
棚卸資産	301,608	339,275
その他の流動資産	19,204	20,038
小計	1,495,051	1,490,666
売却目的で保有する資産	—	17,900
流動資産合計	1,495,051	1,508,566
非流動資産		
有形固定資産	348,912	374,152
のれん	98,330	104,849
無形資産	159,609	155,681
持分法で会計処理されている投資	1,306	463
その他の金融資産	130,393	148,192
繰延税金資産	180,096	195,386
その他の非流動資産	95,188	128,776
非流動資産合計	1,013,837	1,107,502
資産合計	2,508,889	2,616,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	424,036	431,384
社債及び借入金	41,396	41,397
その他の金融負債	11,080	11,945
未払法人所得税	21,470	20,440
引当金	7,626	3,426
その他の流動負債	24,652	28,733
小計	530,263	537,328
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	14,060
流動負債合計	530,263	551,388
非流動負債		
社債及び借入金	101,692	101,597
その他の金融負債	41,647	43,978
退職給付に係る負債	1,310	1,453
引当金	16,376	16,420
繰延税金負債	12,647	13,816
その他の非流動負債	359,096	357,545
非流動負債合計	532,770	534,812
負債合計	1,063,034	1,086,201
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	50,000	50,000
自己株式	△36,808	△36,800
その他の資本の構成要素	200,874	256,353
利益剰余金	1,231,788	1,260,315
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,445,854	1,529,868
資本合計	1,445,854	1,529,868
負債及び資本合計	2,508,889	2,616,069

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	280,317	350,835
売上原価	74,798	93,675
売上総利益	205,518	257,159
販売費及び一般管理費	96,373	136,580
研究開発費	74,931	77,152
その他の収益	168	606
その他の費用	—	0
営業利益	34,382	44,032
金融収益	1,562	8,821
金融費用	6,507	727
持分法による投資損益	△21	6
税引前四半期利益	29,415	52,133
法人所得税費用	10,563	△4,879
四半期利益	18,851	57,013
四半期利益の帰属 親会社の所有者	18,851	57,013
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	9.84	29.74
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	9.83	29.72

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	18,851	57,013
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	1,059	7,917
確定給付制度に係る再測定額	0	11
その後純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	55,202	48,180
キャッシュ・フロー・ヘッジ	—	21
税引後その他の包括利益	56,261	56,131
四半期包括利益	75,113	113,144
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	75,113	113,144

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	自己株式	その他の資本の構成要素		
			新株予約権	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2022年4月1日 残高	50,000	△37,482	822	132,103	35,221
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	55,202	1,059
四半期包括利益	—	—	—	55,202	1,059
自己株式の取得	—	△6	—	—	—
自己株式の処分	—	84	△29	—	—
配当金	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	△76
その他の増減	—	—	—	△1,540	—
所有者との取引額等合計	—	77	△29	△1,540	△76
2022年6月30日 残高	50,000	△37,404	792	185,764	36,205

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	資本合計
	確定給付制度に係る再測定	その他の資本の構成要素合計	利益剰余金		
2022年4月1日 残高	—	168,147	1,170,208	1,350,872	1,350,872
四半期利益	—	—	18,851	18,851	18,851
その他の包括利益	0	56,261	—	56,261	56,261
四半期包括利益	0	56,261	18,851	75,113	75,113
自己株式の取得	—	—	—	△6	△6
自己株式の処分	—	△29	△54	0	0
配当金	—	—	△25,876	△25,876	△25,876
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△0	△76	76	—	—
その他の増減	—	△1,540	1,689	148	148
所有者との取引額等合計	△0	△1,646	△24,165	△25,733	△25,733
2022年6月30日 残高	—	222,762	1,164,894	1,400,252	1,400,252

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	自己株式	その他の資本の構成要素			
			新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2023年4月1日 残高	50,000	△36,808	608	168,415	403	31,446
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	48,180	21	7,917
四半期包括利益	—	—	—	48,180	21	7,917
自己株式の取得	—	△5	—	—	—	—
自己株式の処分	—	13	△6	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	△209
非金融資産等への振替	—	—	—	—	△424	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	7	△6	—	△424	△209
2023年6月30日 残高	50,000	△36,800	602	216,596	—	39,154

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	資本合計
	確定給付制度に係る再測定	その他の資本の構成要素合計	利益剰余金		
2023年4月1日 残高	—	200,874	1,231,788	1,445,854	1,445,854
四半期利益	—	—	57,013	57,013	57,013
その他の包括利益	11	56,131	—	56,131	56,131
四半期包括利益	11	56,131	57,013	113,144	113,144
自己株式の取得	—	—	—	△5	△5
自己株式の処分	—	△6	△6	0	0
配当金	—	—	△28,760	△28,760	△28,760
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△11	△220	220	—	—
非金融資産等への振替	—	△424	—	△424	△424
その他の増減	—	—	60	60	60
所有者との取引額等合計	△11	△652	△28,485	△29,130	△29,130
2023年6月30日 残高	—	256,353	1,260,315	1,529,868	1,529,868

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	29,415	52,133
減価償却費及び償却費	14,870	14,169
減損損失(又は戻入れ)	11	3
金融収益	△1,562	△8,821
金融費用	6,507	727
持分法による投資損益(△は益)	21	△6
固定資産除売却損益(△は益)	504	51
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△7,319	△18,628
棚卸資産の増減額(△は増加)	△26,048	△32,598
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△13,936	△6,733
その他	△14,924	△42,696
小計	△12,459	△42,399
利息及び配当金の受取額	1,446	4,158
利息の支払額	△134	△141
法人所得税の支払額	△9,617	△7,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,764	△46,238
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△28,017	△53,258
定期預金の払戻による収入	50,128	100,469
投資の取得による支出	△40,874	△1,938
投資の売却及び償還による収入	65,147	122,288
有形固定資産の取得による支出	△14,986	△24,542
有形固定資産の売却による収入	17	6
無形資産の取得による支出	△4,996	△1,965
貸付金の回収による収入	77	70
その他	△184	△738
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,311	140,392
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還及び借入金の返済による支出	△98	△99
自己株式の取得による支出	△6	△5
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△25,911	△28,795
リース負債の返済による支出	△3,641	△3,628
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,658	△32,528
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△24,110	61,625
現金及び現金同等物の期首残高	662,477	441,921
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,697	22,428
現金及び現金同等物の期末残高	658,064	525,975
売却目的で保有する資産への振替額	—	△6,310
現金及び現金同等物の期末残高 (連結財政状態計算書計上額)	658,064	519,664

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。